

1 市の施策の現状と課題（都市整備分野）

1 副県都としてふさわしい新たな都市構造の形成

- ・新市全体を見通した新しい市にふさわしい、歴史、文化をふまえた都市構造を構築していく必要がある。

2 活力あるまちの創造

- ・産業の発展を誘導する将来を見据えた計画的市街地を整備し、より効率の良いまちづくりをする必要がある。

3 恵まれた地形、自然景観をいかしたまちづくり

- ・北上川により新市が東西に分断された形になるが、逆にその河川を市の中央に位置する公園（河川公園）と位置づけ、市民の憩いの場となるような場所とし、又、広大な河川景観をいかしたまちとする。
- ・景観法をふまえた各地域にふさわしい景観誘導をおこなう。

2 課題にたいする対応策

1 地形や歴史そして、未来をみすえた各地域の特色をいかした将来像の提案

→ ○別紙土地利用構想図

2 効率の良い、だれでもが暮らしやすい都市をめざす為の道路網、交通網の提案

→ ○別紙循環道路網及び都市軸図

3 新しい時代にふさわしい、都市基盤をそなえた副都心形成の提案

- ・業務施設、文化施設、都市住宅、商業施設の混在する新たな時代のモデル地区となる副都心を提案する。

4 歴史を生かした中心市街地の再生の推進

- ・中心市街地を活性化する為、まちなか居住支援制度やまちなかの店舗改修補助制度等をつくり活性化を助ける。
- ・まちなかを流れる川を再生する。

5 自然をいかした地域、歴史、風土をいかした地域、都市の中心を担うべき地域等それぞれの特性をいかした景観形成の推進

- ・散居集落景観に配慮した宅地開発の指導。
- ・大規模店舗開発地域に一定の緑地確保等を義務づけ、景観に配慮した施設を誘導する。

6 北上川新橋の早期実現

- ・新幹線駅と離れた位置にある既存市街地をより結びつける意味で、非常に重要な施設になると思われる、又、新市のシンボルとなるようなデザインとする。

7 宇宙科学館建設提案

- ・現在、旧緯度観測所本館の利用が検討されているところであるが、単なる小展示施設では人を呼ぶことはできないのではないかと。そこで、話をより夢のある未来発展的に捉え宇宙や天文に関わる様々なものを展示する施設やプラネタリウム施設、宇宙に関わる世界会議もできる施設を備えた宇宙科学館を併設することを提案する。

8. 用途地域の見直し

- ・あらたに将来ビジョン土地利用構想に沿った形での用途地域をする。